

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員(検定員)受験・更新申込書(S・準S級)

JKJO公認審判員規程別3
 受験者→講習会開催者
 →JKJO本部発行

登録料 1,000円

①太枠内を全てご記入ください

受験日	西暦	年	月	日 ()	会場名	
開催地区	北海道・東北・甲信越・北陸・関東・中部・関西・中国・四国・九州					

カラー写真1枚
 3×4cm・上半身
 審判シャツ・JKJOネクタイ
 着用
 裏面に名前記入
 写真の貼り付けが無い場合
 ライセンス発行ができません
 ので、次回再受験となります

受験級	S級・準S級 (○を付す)	受験区分	新規・再受験・更新 (○を付す)				
登録No	-	所属道場					
ふりがな			生年月日	西暦	年	月	日
氏名			性別	男・女	年齢	歳	

住所	(〒 -) 都道府県					
----	----------------	--	--	--	--	--

電話番号	-	-	空手段位	級・段	空手修行歴	年	ヶ月
------	---	---	------	-----	-------	---	----

現ライセンス	S級 準S級 A級 (○を付す)	現ライセンス取得年月日	西暦	年	月	日
--------	------------------	-------------	----	---	---	---

所属地区検定員の推薦が必要なため検定員のサインまたは受験の承認を行い検定員名を記入	所属地区検定員名
---	----------

審判経験 ※S級受験者は準S級検定員認定後1年間、指定大会での審判実務経験を最低2回要する
 ※準S級受験者はA級認定後、公認大会での審判実務経験を最低2回要する

西暦	年	月	日	大会名	主審	副審
西暦	年	月	日	大会名	主審	副審

検定員業務経験 ※S級受験者は準S級検定員認定後1年間、審判講習会検定員実務経験を最低2回要する
 ※準S級受験者はA級認定後、審判講習会検定員補佐業務経験を最低2回要する

西暦	年	月	日	地区名	地区審判講習会
西暦	年	月	日	地区名	地区審判講習会

(検定員記入欄) **JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定**

実技試験	検定員名	1		2	
-------------	------	---	--	---	--

※減点方式のため、問題が無ければ「5」に○を付けてください (例:ライセンス証不携帯の場合減点1で「4」に○)

服装 (ライセンス証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品)	5	4	3	2	1
審判動作	5	4	3	2	1
反則・有効技に対する反応 (アクシデントに対する対応も含む)	5	4	3	2	1
判定の正確性	5	4	3	2	1
検定員として審判員への指導能力	5	4	3	2	1

※筆記試験/90点以上合格

※実技試験/23点以上合格

筆記試験	立会 検定員名		点数	点	実技試験	点	総合評価	合格・不合格
-------------	------------	--	----	---	-------------	---	-------------	--------

承認執行部員名	1		2		3	
---------	---	--	---	--	---	--

特記事項	
------	--